



学校の概要



所在地：〒195-0063 東京都町田市野津田町並木1942
 創立：1920年(大正9年)4月28日
 創立者：A.K.ライシャワ夫妻(元駐日大使のご両親)、L.F.クレーマ
 校地：11,512㎡ 校舎：4,364㎡
 (幼稚部棟、小・中学部棟、食堂、体育館、クレーマ棟、フェリシア館)
 児童生徒数：在籍79名
 (乳幼児20名、幼稚部15名、小学部30名、中学部14名)
 教職員数：合計69名
 (専任教諭31名、講師等14名、事務職員等24名)



開校当時の牛込福音教会



ライシャワ家
(学校法人明治学院歴史資料館所蔵)



L.F. クレーマ

2018年4月1日

学校法人役員

理事・評議員

理事長 上原行義
 安積 力也
 磯貝 暁成
 岩村 太郎
 梅津 順一
 尾澤 弘久
 加藤 剛男
 川口 武宣

小暮 修也
 迫川 道子
 鈴木 実(校長)
 中村 俊子
 牧野 信次
 村上 一平
 村田 智子

評議員

青山 侑
 今村 直
 後宮 敬爾
 大嶋 直子
 奥田 義孝
 小島 伸之
 佐々木 勝
 杉浦 進

鈴木 学秀
 瀬底 正嗣
 谷口 知栄子
 十時 敬
 中島 英一
 川島 秀介
 船本 弘毅
 山内 俊明

監事

小野 道久
 吉永 益雄



日本聾話学校後援会

会長 岡田 明重

お問い合わせ

学校法人 日本聾話学校

児童発達支援センター(主に難聴)
 ライシャワ・クレーマ学園 乳幼児部
 私立 日本聾話学校 幼稚部 小学部 中学部

〒195-0063 東京都町田市
 野津田町並木 1942
 TEL. 042-735-2361
 FAX. 042-735-8292



子どもたちの様子は動画を交えてホームページで詳しくご覧いただけます

日本聾話学校

検索

<http://nrg.ac.jp>

創立100周年記念募金 振込方法

○同封の郵便振替用紙にてお振込ください。

○寄付金控除について

本校へのご寄付は、所得控除、税額控除、住民税控除、相続財産よりの寄付など様々な税の優遇措置対象となります。



創立100周年記念 募金趣意書



校舎の老朽化にともなう 未来へつなぐ改修工事 募金のお願い

Love
never
faileth

愛は決して滅びない
(コリントの信徒への手紙1 13-8)

Edwin O. Reishawa
エドウィン・O.ライシャワ



学校法人 日本聾話学校

児童発達支援センター(主に難聴)
 ライシャワ・クレーマ学園 乳幼児部
 私立 日本聾話学校 幼稚部 小学部 中学部



募金のお願い

募金目標 **5,000**万円

募金期間：2018年6月～2021年3月

いつも本校を覚えお祈りご支援いただき、心より御礼申し上げます。日本聾話学校は、2020年に創立100周年を迎えます。この100周年を記念し、子どもたちの安全と教育のさらなる充実のため、校舎の改修工事を行いたいと願っております。

本校は町田市の野津田の丘に移転して50年になり、建物の老朽化が進んでおります。創立80周年、90周年には耐震工事を行い、目下の危険は回避することができました。ご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。100周年事業では、この先50年の教育に備えて老朽化した校舎の大規模改修を行い、日本で唯一である私たちの教育を必要とする子どもたちのために、未来へつなげたいと考えております。

つきましては、経済情勢厳しい折から大変心苦しく存じますが、温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

2018年6月

理事長 上原 行義
校長 鈴木 実

より良い教育環境のために
改修したい場所

ひび割れた床のタイル



雨漏りで傷んだ天井と古くなったサッシ



老朽が進んだ教室の扉



聴いて、話し、歌う

聴覚障がい児教育の

3つの特徴

人間教育

早期教育

キリスト教精神



1 キリスト教の 精神で 豊かな人格へ

1920年、アメリカ人宣教師A.K.ライシャワ博士夫妻（ライシャワ元駐日大使のご両親）によって設立されました。キリスト教精神に基づく“一人ひとりを大切にする教育”を通して豊かな人格形成を目指す私立聾学校です。

2 耳をひらき 心を育む 人間教育

聴覚を通して日々の生きたことばのやりとりを重ねることは、ことばの獲得のみならず、コミュニケーション能力を高め、全体的な成長発達を促します。弱さを力とし子どもの力を信じて待つ教育を行うことで、社会の中で望ましい人間形成ができるようにサポートしています。

3 早期教育で 聴く力を活かす

聴覚に障がいを持って生まれてきた子どもの、わずかでも残っている「聴く力」を徹底的に活用し聴いて話す力を引き出します。親子の愛情豊かで安定した関わり合いを支え、その後の発達の基礎を築きます。そのため0歳児からの教育を最新最適の補聴環境で行っています。

事業計画：校舎老朽化に伴う改修工事

改修工事概要

上下水道配管と校舎の全面改修
による補強・延命化

聴こえに配慮した教室内設備の刷新

事業費

総額 1億2,000万円

資金計画

自己資金 7,000万円

募金 5,000万円